

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	060101010	予算コード	01009700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	コミュニティバス事業			正規職員数 0.06	国庫支出金 0	有効性	B	地域住民の生活に密着した交通の確保については、市町村の役割が極めて重要であり、近隣自治体においてもバス事業者との協調によるコミュニティバスの運行が行われている。今後も交通弱者の交通手段、交通空白地の解消を図るため、地域住民の要望にあったバスの運行が求められる。平成27年10月から利用者運賃の無料化、平成27年12月より日曜日及び祝日に観光周遊バスを運行。	
担当課	道路公園課			嘱託職員数 0	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	該当なし		
	■要綱・要領			歳出(千円)	その他 0				
	泉佐野市コミュニティバス運行経費補助金要綱			人件費総額 493	一般財源 46,389	妥当性	B		
				減価償却費 0					
				事業費 45,896	受益者負担	該当なし			
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	46,389	緊急性	C		
実施手法	補助・負担			市民1人当たりコスト(円)	461				
対象				活動指標	H29実績	公的関与	A		
不特定の市民	対象数			運行便数(コミュニティバス)	6,432.0				
特に、高齢者・障害者等の交通弱者及び観光客				運行便数(観光周遊バス)	650.0	実施主体・委託化	C		
事業の内容									
南海泉佐野駅を起点に、路線バスが運行していない地域の交通利便性の向上を図り、市内主要公共施設などを結ぶ巡回バスとしてコミュニティバスを「北回り」「中回り」「南回り」の3コース運行。また、日曜日・祝日には、泉佐野市を訪れる観光客が市内の観光地並び商業施設を巡ることができるように観光周遊バスを、バス事業者と共同事業という位置付けで事業を実施。						他の事務事業との関連	A		
				成果指標	H29実績	透明性	B		
				年間利用人数(コミュニティバス)	154,490.0				
				年間利用人数(観光周遊バス)	5,725.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	H29実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				利用人数一人当たりの事業費	290.0				
事業の目的									
路線バスが運行していない地域や市内主要公共施設などを結ぶ巡回バスを運行することにより、市内の交通利便性の向上、公共施設の利用促進を図る。また、泉佐野市を訪れる観光客が市内を巡るための交通手段の確保。									